

# 一般国道178号 城崎道路に係る新規事業採択時評価

- ・浸水区域を回避し、災害時でも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築
- ・第三次救急医療機関へのアクセス向上により、救急医療活動を支援
- ・高速道路ネットワーク形成による主要観光地間の移動時間短縮により、地域間の観光振興を支援

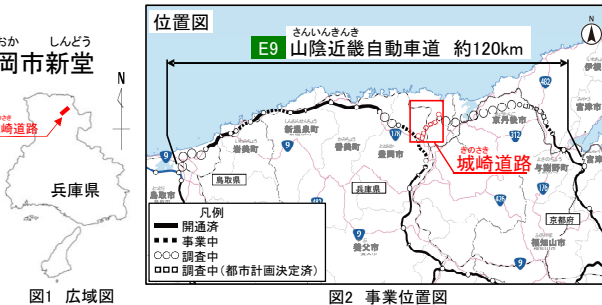
## 1. 事業概要

- ・起終点：兵庫県豊岡市城崎町飯谷～豊岡市新堂
- ・延長等：7.4km

(第1種第3級、完成2車線、設計速度80km/h)

- ・全体事業費：約1,150億円
- ・計画交通量：約4,700台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約3,500台/日	約700台/日	約500台/日



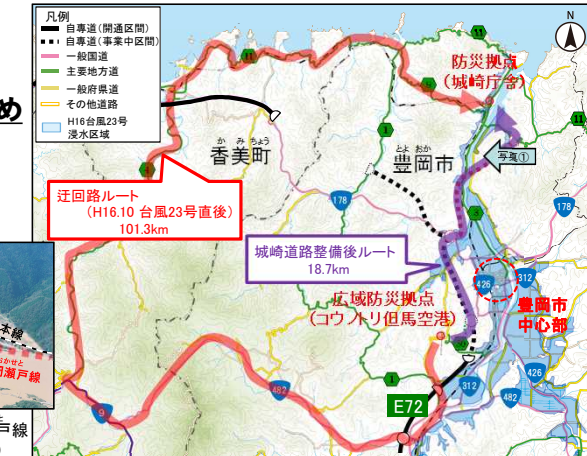
## 2. 課題

### ①異常気象・災害時における通行止め

- ・平成16年10月の台風23号による洪水では、豊岡市中心部～同市城崎町の道路・鉄道が分断し、往来が困難となった。

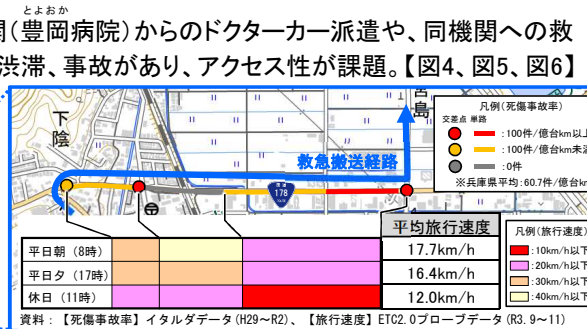
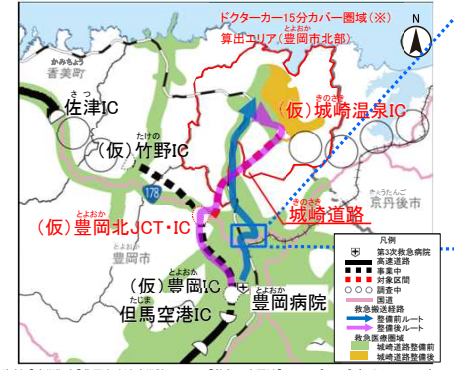
【写真①、図3】

- ・災害時の迅速な支援活動にも支障。防災拠点となる城崎庁舎への緊急物資輸送等が課題。



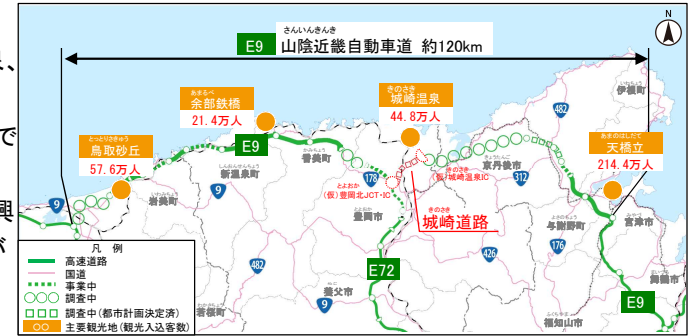
### ②救急医療機関へのアクセス

- ・豊岡市北部における第3次救急医療機関(豊岡病院)からのドクターカー派遣や、同機関への救急搬送の利用ルートである国道178号は洪滞、事故があり、アクセス性が課題。【図4、図5、図6】



### ③府県間をまたぐ広域的な観光連携

- ・山陰近畿自動車道沿線には、鳥取砂丘や余部鉄橋、城崎温泉、天橋立などの観光地が存在。
- ・高速道路ネットワークが未整備であり、各観光地間の移動に時間を要しており、広域周遊観光振興の促進のため、移動時間短縮が課題。【図7】

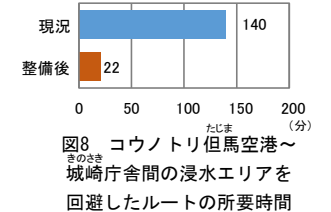


## 3. 整備効果

### 効果1 災害時等に強い道路ネットワークの確保 [◎]

- ・広域防災拠点(コウノトリ但馬空港)から地域の防災拠点(城崎庁舎)間の移動時間短縮により、災害時の地域連携の支援を期待。【図8】
- ・国道178号、(主)豊岡瀬戸線の通行止め時に代替路として機能。

(地域間の所要時間の短縮 (コウノトリ但馬空港～城崎庁舎)⇒【整備後】118分短縮)

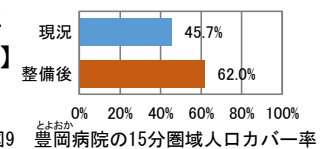


【整備前】平成27年度全国道路・街路交通情勢調査より算出  
【整備後】豊岡道路(Ⅱ期)、城崎道路利用ルート(設計速度80km/hで算出)  
ETC2.0プローブデータ(R3.9～11月間12時間全日平均)

### 効果2 救急医療活動を支援 [◎]

- ・第3次医療機関(豊岡病院)からの15分圏域(豊岡市北部)の拡大により、ドクターカー派遣や救急搬送などの救急医療活動を支援。【図9】

(豊岡病院の15分圏域人口カバー率 (豊岡市北部)⇒【整備後】16%増加)

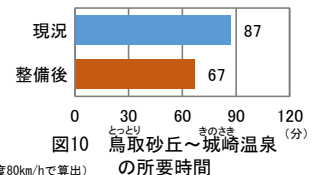


【現況】現道利用(R5.2時点) 【整備後】豊岡道路(Ⅱ期)、城崎道路利用ルート(対象区間は、設計速度80km/hで算出)  
【15分圏域】ETC2.0プローブデータ(R3.9～11月間12時間全日平均)より算出 【人口】R2国勢調査

### 効果3 広域周遊観光の促進 [◎]

- ・山陰近畿自動車道沿線の観光地間の移動時間短縮により、観光地間の連携機能を強化し、広域周遊観光振興を促進。【図10】

(地域間の所要時間の短縮 (鳥取砂丘～城崎温泉)⇒【整備後】20分短縮)



【現況】現道利用(R5.2時点) 【整備後】岩美道路、浜坂道路(Ⅱ期)、竹野道路、城崎道路利用ルート(対象区間は、設計速度80km/hで算出)  
【所要時間】ETC2.0プローブデータ(R3.9～11月間12時間休日平均)より算出

### ■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.4 (0.2)	6.9% (-2.9%)	2,001億円※2 (797億円※2)	2,771億円※2 (148億円※2)

注)上段の値は津津天橋立IC～豊岡北JCT・ICを対象とした場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果  
※1:EIRR:経済的内部収益率 ※2:基準年(令和4年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率:4%)

# きのさき 一般国道178号 城崎道路に係る新規事業採択時評価

